

少しきたない水（水質階級Ⅱ）の指標生物

線の長さは実物の大きさの目安です。

コガタシマトビケラ

頭の先に小さなくぼみがあるのが特徴で、頭と胸は赤茶色をしている。腹は鮮やかなうす緑色から緑がかった茶色、あるいは茶色などいろいろな色をしている。



コガタシマトビケラ

オオシマトビケラ

頭から胸にかけて固く、うすい茶色である。他は茶色から緑色でやわらかく、頭の上部の平たい部分が広いのが特徴。さなぎは石粒などを使って固めた巣で過ごす。
●まちがえやすい生物
シマトビケラとまちがえやすい



オオシマトビケラ

ヒラタドロムシ

体は固く、平たい円形か卵形で、色は黄色か茶色。足は3対あるが、背の方からは見えない。流れの速い瀬の石の表面について生活している。



ヒラタドロムシ

ゲンジボタル

体は黒色で、胸の一番前の節（頭のように見える）に、トランプのスペードの模様がある。ヘイケボタルはよく似ているが、ゲンジボタルの方が大きい。ヘイケボタルでは十文字形の模様がある。



ゲンジボタル



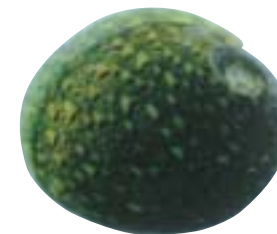
コオニヤンマ



スジエビ



ヤマトシジミ



イシマキガイ



カワニナ

コオニヤンマ

体は赤茶色で、薄い平らな広葉状あるいはうちわ状の形をしている。触角もうちわ形。流れの比較のおだやかなよどみの底で生活している。

スジエビ

体にはこげ茶色の模様があり、海水が少し混ざっている汽水域にもすんでいる。
●まちがえやすい生物
ヌマエビなどとまちがえやすい。

ヤマトシジミ

二枚貝で、殻は小さいうちは青緑色だが、成長すると黒色になる。
●まちがえやすい生物
マシジミとまちがえやすいが、マシジミは淡水にすんでいる。

イシマキガイ

殻は固く、石についている。主に海水が少し混ざっている汽水域にすんでいる。

カワニナ

殻は細く、長い。殻の上部が欠けていることが多い（殻高1.5～3 cm）。殻の表面は黄土色またはこげ茶色で、ザラザラしている。石に付着していることもあるが、砂まじりの川底にいることもある。塩分のあるところにはいない。